

論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨の公表

学位規則第8条に基づき、論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨を公表する。

フリガナ 氏名(姓、名)	ラニア カビール Rania Kabir		授与番号 甲 1516 号
学位の種類	博士(経済学)	授与年月日	2021年 9月 25日
学位授与の要件	本学学位規程第18条第1項該当者 [学位規則第4条第1項]		
博士論文の題名	Government Borrowing, Government Banks, and Financial Intermediation (政府借入、政府銀行および金融仲介)		
審査委員	(主査) FLATH David (立命館大学経済学部教授)	LEE Kangkook (立命館大学経済学部教授)	
	稲葉 和夫 (立命館大学経済学部教授)		
論文内容の要旨	<p>本論文は、政府系金融機関の活動が民間銀行の活動を促進するのか否かを実証的に分析している。第1章は研究の背景と研究目的を明らかにする序章、第2、3章は、政府系銀行が民間金融機関に及ぼす影響の分析、第4、5章は、バングラデシュの政府系銀行が民間の金融機関に果たした役割を検討している。第6章は、分析の要約と政策的含意の考察から構成される。論文の主要部分である第2、3、4、5章の分析内容は、以下のように要約しうる。</p> <p>第2章では、1995年から2014年までの73か国の5年間の平均パネルデータを使用して、民間銀行からの政府借入増加が民間銀行の信用にどのように影響するかを回帰分析によって検討している。推定結果は、銀行が保有する政府債務の増加が民間部門への銀行信用をクラウドディングアウトしていることを示しており、発展途上国と高所得国の両地域にあてはまる。</p> <p>第3章では、1970年から2017年までの112か国のパネルデータを使用した回帰分析モデルを作成し、政府系銀行の行動が金融仲介機構の全般に及ぼす影響を推定している。分析では、「貯蓄効率」と呼ぶ金融開発の新しい尺度が提案している。この指標は、低所得国の実際の国内貯蓄率と、低諸国で金融システムが高所得国と同様に開発された場合の貯蓄率とのギャップであらわされる。推定結果より、銀行業界全体に占める政府系銀行の割合が支配的な低所得国では、貯蓄効率が少し小さくなる傾向があることを示唆している。</p> <p>第4章では、第3章の推定結果を利用し、バングラデシュの政府系銀行が金融機構の発展に与える影響を検討する。バングラデシュでは、時間の経過とともに民間銀行が政府系銀行に取って代わり、貯蓄効率も上昇し、金融の発展は着実に進んでいることが明らかになっている。</p>		

	<p>第 5 章では、バングラデシュ信用市場における政府の役割について検討を行っている。分析結果より、国内のマネーバンクによる民間部門へ信用は GDP 比率では、平均してバングラデシュと同じ低所得グループの他の諸国と比較して高いが、信用の成長は貯蓄成長よりも遅く、貯蓄に対する信用の比率は約 70%にとどまり他の諸国よりも平均して低いことがわかる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">論文審査の結果の要旨</p>	<p>本論文は政府系金融機関が金融市場に果たす役割を高所得国、低所得国からなるパネルデータで実証分析を行い、その分析結果をバングラデシュの金融市場の分析に適用するという一貫した経済的枠組みの中で議論の展開がなされているところに特徴がある。</p> <p>申請者が主要な先行研究を踏まえ、応用計量経済学の熟知していることが見てとれるものの、なお幾つかの検討すべき今後の課題が残されている。</p> <p>第一には、第 2、3 章のパネルデータ分析において、説明変数の内生性の可能性、およびその源泉について考察が行われていれば分析結果の補強ができたであろう。第二には、貯蓄効率をめぐるバングラデシュの金融市場の分析において、同じグループに属する低所得国の数カ国との比較を行えば、当該国の状況がより明確になったと考えられる。</p> <p>以上の分析上の制約にも関わらず、本研究論文は以下の諸点で新しい貢献が見られる。</p> <p>第一には、第 2 章では Alchian and Kessel (1962) の提案を新しい形で適用し、政府の過度な国債発行により銀行信用を民間部門に拡大することを怠惰(lazy)に抑制するという斬新な洞察が展開されている。</p> <p>第二に、第 3 章では、政府系銀行が金融開発に与える影響を推定する手法として貯蓄効率という金融開発の独自の指標を提案している。この指標は、第 4 章以降のバングラデシュにおける政府系銀行が金融市場に及ぼす効果の分析にも非常に重要な役割を果たしており、他の主要な経済指標と組み合わせて、より一層進んだ分析が今後期待できる。</p> <p>以上により、審査委員会は一致して、本論文は本研究科の博士学位論文審査本論文の分析は基準を満たしており、本論文は博士学位を授与するに相応しいものと判断した。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">試験または学力確認の結果の要旨</p>	<p>本論文の公聴会、および口頭試問は 2021 年 6 月 14 日(月)13 時から 14 時 30 分までびわこ・くさつキャンパスアクロスウィング 1 階 Across Lounge にて対面及びオンライン (Zoom) で行われた。本論文審査委員会は、申請者が本学大学院経済学研究科博士課程後期課程の在学期間中における学会発表などの様々な研究活動、公聴会の質疑応答を通して博士学位に相応しい能力を有することを確認した。</p> <p>したがって、本学学位規程第 18 条第 1 項に基づいて、博士 (経済学 立命館大学) の学位を授与することが適当であると判断する。</p>